

Campus tree

内尾真子（環境人間学部 2 回生）

キーワード：地域交流、地域活性化、つながり

1. 団体概要

Campus tree は、揺らめく明かりの中で生まれるあたたかな交流を大切にするキャンドルナイトや古民家の土壁を実際の現場で働いているプロの講師の方々からご指導いただきながら補修する古民家改修プロジェクトを通し、地域の人々の関わりの中で生まれる「つながり」を大切にしながら活動する、兵庫県立大学の学生による学生団体である。現在は3年生3人、2年生3人、1年生10人の計16人で活動している。

2. 2023年の活動について

古民家の土壁改修ワークショップの参加やクリスマスイベントや文化祭でのキャンドルナイト、オープンキャンパスでのワークショップ開催などを行った。

4月	土壁ワークショップ、新入生歓迎会、春フェス参加
7月	ゆらめくあかりまつり、オープンキャンパスでのワークショップ、土壁ワークショップ
12月	あぼしまちカフェクリスマス、アクリエホワイトクリスマス

土壁ワークショップでは、2023年4月と7月の計2回参加した(写真1)。兵庫県福崎町の登録文化財である土塀を改修するワークショップであり、お世話になっている福崎町の旧小國家の所有者や講師の先生のご指導のもと、泥団子を作って土壌の基礎を作る作業や土壁の瓦の張替えを体験させていただいた。コミュニケーションをとりながら、講師の先生方や地域の方と楽しく交流することができたのはもちろん、普段することのない瓦割りをさせていただいたり、改修中の宿泊施設の内部の見学をさせていただいたりするなど、非日常の体験をすることができた。

今回初めて参加させていただいたアクリエホワイトクリスマスでは、かめやまキャンドルさんの協力のもと、キャンドルナイトを行った(写真2)。キャンドルナイトのコンセプトや配置デザイン案などは、ランチミーティングやオンラインミーティングなどを通して思考をこらしたものにし、来場者の目に留まりやすいように設置なども工夫して行った。その結果、多くの来場者の方に楽しんでいただき大成功となった。

また、今年も例年通り、あぼしまちカフェクリスマスへ参加させていただいた(写真3)。今年はキャンドルナイトだけではなく、キャンドルワークショップを行った。老若男女問わず、イベントに来場してくださった多くの方々にキャンドルづくりを



写真1 土壁ワークショップの様子



写真2 キャンドルナイトの様子

楽しんでもらうことができた。また、Campus tree のメインイベントの一つであるあぼしまちカフェクリスマスキャンドルナイトでは、イベントに参加された他の団体の方を含む多くの方にキャンドルを並べる作業を手伝っていただき、とても素敵なキャンドルナイトを行うことができた。

3. 活動を通して学んだこと

私たちは Campus tree の活動を通して、地域のみなさんと関わりながら活動をする楽しさや自らイベントを動かす難しさ、Campus tree の仲間と協力することの大切さを学ぶとともに、キャンドルナイトを成功させることへの達成感など多くのことを学んでいる。特にアクリエホワイトクリスマスのキャンドルナイトにおいては、初めてのイベン



写真3 キャンドル展示の様子

トでもあり、打ち合わせやメールのやり取りでキャンドルナイトの準備から片付けまでを行うことに不安を感じていた。しかし、連携先の方をはじめイベントに参加していた他の団体のみなさんが協力してくださり、Campus tree のメンバーはもちろんそれ以外の人も含むイベントに関わる人全員でキャンドルナイトを作り上げることができたことへの大きな喜びを感じた。このような人とのつながりはこれからも大事にしていきたい要素の一つだと感じている。

4. 今後の展望

今後の展望としてはまず新たなイベントへの参加にも力を入れていきたい。私たちは、先輩たちがこれまでお付き合いをされていた連携先の方と継続的に今でもイベントに呼んでいただいているが、コロナ渦でなくなってしまったイベントも多い。そのため、活動の時期が不定期となってしまっている。そこで、新しいイベントにも参加するためより一層広く活発に活動できるようにアンテナを立てて動いていきたいと思っている。

また、認知度の向上に努めたい。学生団体 campus tree を兵庫県立大学の学生はもちろん、地域の方々にもっと知っていただきたい。そのために、SNS を活用して、私たちの活動を多くの人に発信することで興味を持ってもらいたいと考えている。